

西宮市 H23 年度決算

約36億円の黒字で 基金は162億円にも！



予算要望書を市長に手渡す市議団
(左端が上田さち子)

9月議会が始まりました。23年度決算審査も行われる議会で、市民のみなさんの要求実現へがんばりたい。

23年度決算は、個人市民税の減はあったものの、約36億円の黒字決算となりました。財政基金は22億円の積み増しで、基金残高は162

億円にもなっています。

「財政が厳しい」という言い訳は成り立たなくなりまして、アサヒビール工場跡地買収計画が25年度に予定されておられ、市政をめぐる焦点となっています。

市議団が「予算要望書」提出

8月30日、党市議団は422項目にわたる「要望書」を河野市長に提出。これは、市民からの声を来年度西宮市予算に反映させようとするもので、決算審査に先立って毎年行っています。基金が大きく積み立てられた決算内容を踏まえ、小学校



日本共産党 上田さち子です

2012. 9. 9 号

(発行)

日本共産党市会議員
上田さち子
川添町五・十八
電・三五二八二三

水道事業会計でも 26億円余の資金余裕

節水意識の高まりで「水が売れない」水道事業ですが、これまでか業からの資金余裕は26億円余。市議団は「高過ぎた料金を見直し引き下げを」と要求しています。



へのエアコン設置や、国保料や介護保険料の軽減のための予算編成を求めました。特に、民主党と自民・公明3党で強行した消費税増税については、「市民のくらしを守るためにも『実施するな』と国に伝えよ」と申し入れました。

私のブログ「上田さち子とコーヒータイム」を更新中です。ぜひ、訪問して下さい。お待ちしております。

大飯原発再稼働、何やったん？

9月になり、秋の気配が少しずつ広がってきました。みなさんには、お元気でお過ごしでしょうか。

ところでこの夏、「電力が足りなくなる」と莫大な費用をかけて計画停電の脅しをかけた関西電力。結局は

病院問題特別委員の突然？の交代

いま、西宮市立病院のアサヒビール工場跡地への移転新築問題が、私も所属する議会の「病院問題特別委員会」で論議中。

2回目の会議が8月29日にありましたが、その終了直後に蒼士会の委員が木村議員から今村議員に交代すると届け出がありました。なぜかしら？

蒼士会は市立中央病院の移転新築には批判的で、「赤字病院」はなくせと言わんばかりです。しかし思惑通り進まないからの「交代劇」でしょうか。

党市議団は、当然経営改善を図り、公立病院救急などを中心にしての医療の拠点としての役割をこなして行っています。



「原発を動かさなくても、電力は足りていた」ということを認めました。

何と8月3日のピーク時間で、まだ大飯原発の本格稼働のないときに、300万キロワットも余っていたということです。

「即時、原発ゼロ」が8割も

この間、政府が行なったパブリックコメント（意見公募）には89000通も回答が寄せられたということ。

2030年に原発依存度はゼロ・15%・30%のいずれかを回答するものでしたが、8割もの方々が「直ちにゼロに」と回答。すごいですね。



どの政党に入れば当選できるのか・・・浮草のような議員や候補者

2大政党と言われた自民・民主がさっぱり。総選挙が目の前に来て、「どの政党に入れば有利か」と、理念もない「浮草」のようにウロウロする政治家？たち。

日本共産党は党創立90年の政党で、「反戦平和や主権在民」を掲げる「草の根の政党」。その一員として9月議会も全力。



原発ゼロの日本へ政治決断を！

民意は明瞭です。代表選で「ごたごたする民主党ですが、「原発ゼロの日本へ」政治決断の時です。